

## 第3回 定例運営委員会 議事録

庄戸1丁目町会  
会長 射場 潔  
文責 仲野 彰彦

- 日時：平成30年8月5日（日） 11:00～12:00
- 場所：庄戸中コミュニティハウス
- 出席者 役員：射場 大野 佐藤 片寄 大村 肥田 四十万 佐々木 木村 高橋  
内藤 大西 林 井須 三箇 朝比奈 仲野  
地区委員：湯本 田中 青野 野崎 中野 白澤 高梨 樋口
- 欠席者 役員：武林 相羽 鈴木 地区委員：福本 西村 筧 佐伯（敬称略）

### ○議事録

#### ☆会長挨拶（会長）

##### 1. ボランティア募集・アンケート実施について（会長）

(1)「超高齢化地域のこれからの町会活動を考える分科会」の設置及び分科会メンバー(ボランティア：義務なし)募集について  
役員と一般の方から有志を募り、町会分科会を設置したい。2020年には75歳以上が4割という超高齢化を迎え、現在の町会の輪番制役員では運営が難しくなってくるだろう。3年～5年後の運営方法を今から検討開始するべき。介護される方には同数の介護する方が必要であり、輪番制の町会役員の担い手がますます少なくなる。他の4町会は月に1度、役員会を実施している。1丁目町会は2か月に1回なので課題を議論する機会が少ない。そこで有志を募集して、町会分科会を実施したらどうか。課題は以下の3つ。

##### 課題A：庄戸会館の今後をどう考えるか？

- 庄戸中跡地の利用案は、決定まで後5年くらいかかる見込み。
- コミハは存続する見込みだが上郷東地区全体が対象になる為、庄戸への優先度は低くなる。
- ある程度の広さを確保できる地域避難所が必要。庄戸中防災拠点の利用不可。
- 4丁目は昨年総会で「耐震工事を実施して利用再開」と決議

##### 課題B：上郷東地区連合町会への参加について。現在は1丁目、2丁目のみ参加。3,4,5丁目は退会している。

- 栄区連合町会の会議内容伝達が主。独自活動はほとんどなし。横浜市関連団体との共同活動が多い。
- 新しい提案の検討がされる雰囲気ではない。
- 毎月1回の会議参加は負担感が大きい。

##### 課題C：町会ホームページの活用方法について。

- 「健康応援サイト」は2か月間で延べ1,000人弱の訪問履歴がある。延べ数の為、実際の訪問数を知るためにアンケート実施。
- 「町会情報ページ」は実際に役立っているのか？そうでなければ、どうすれば役に立つのか？を検討する必要がある。役に立たないようであれば閉鎖した方がよい。

##### (2)「町会ボランティア会」メンバー募集

「災害時限定/要援護者・要支援者の異常通報ボランティア・避難誘導ボランティア」、「高齢者用/買い物送迎カーの運転ボランティア」（議事に余裕があれば最後に詳細説明）などの募集。

### (3) アンケート調査

ホームページ関連、「町会ふれあい行事」参加意向、スマホ教室やパソコン教室のニーズがあるのか、アンケート実施。

～今後も輪番制役員が可能なのか？元気な高齢者の町会ボランティアグループを作り町会と協働(分業)することは可能か～  
環境衛生部長…若い世代で町会が嫌で入会しない方もいる。

会長…既に入会していても輪番で役員が回ってくるので退会する方がいる。

環境衛生部長…町会に入らなくても情報は入るから退会する方もいる。

副会長 B…役員の仕事にプライオリティーをつけて、軽減できるべきものを削る必要がある。

会長…行政から依頼されている委員があるため、行政との折衝が必要であり、そのためには 5 町会の連携が必要。

町会の仕事の一部を上記に提案した町会のボランティア団体に移行することもできるか？

民生委員・児童委員…HP の更新について議事録などの掲載があるのか？

会長…かなりの数の議事録や広報をすでに町会情報ページに掲載済みである。

民生委員・児童委員…退会する方は PC が使えない方が多いか？

会長…以前実施した全世帯アンケートで 8 割方 PC をつかえる結果を得ている。

政府の調査だと高齢者の 5 割は PC 使用、横浜市では 6 割ほどの使用割合か。

## 2. 会長・副会長研修会報告（副会長 A）

- ①町内会の役割について
- ②安全安心の町づくりについて
- ③防災の取り組みについて

## 3. 地域と学校の協働事業総会報告（副会長 A）

教員や PTA と共同で参加。懇親会では「いじめのない学校」について話し合われた。

## 4. 庄戸夏祭りボランティアの役割分担について（文化体育部長）

8, 9 月の地区委員の役割分担をし、地区委員と確認された。今日の運営委員会で仕事内容を確認する。

## 5. 災害時の支援希望者調査について（副会長 B）

地区委員へ回覧依頼「災害時支援希望シートの配布」にて希望者を集約する。地区委員に集約してもらい、副会長 B へ提出する。

## 6. 敬老の日の祝い品贈呈について（副会長 B）

記念品希望者数が決定した。9 月 15 日（土）までに該当者リストと記念品を役員へ届ける。役員が該当者へ届ける。何名かは（リストに明記）民生委員が直接届ける。

民生委員…面識のない方について話をうかがいたく、民生委員が直接訪問したい。

## 7. 部会・委員会の報告

### 1) 庄戸会館管理運営委員会報告（副会長 A）

草むしり、網戸の破れなど各所修繕や修繕必要箇所の確認をした。

## 2) バス委員会報告 (防犯副部長)

神戸橋の迂回ルートの話やバス利用についてのアンケートが実施された。結果は今後公開される予定。

## 3) 道路委員会報告 (道路委員長)

## 4) グランドゴルフ大会報告 (スポーツ推進委員)

### 民生委員より

第2回 7月8日 懇親会実施 講師の方と1時間半ほど元気よく歌われた。

第3回 10月14日(日) 第3回 思わず笑いの出る体操

## 8. 買い物送迎カーの運行について (相談) (会長)

「玄関から玄関まで」

車両は2年契約で中古車をリース、購入より多少の割高感はあるが、状況に応じて何時でも解約できるリース方式がよいか。

コース①「桂台コース」滞在2時間 利用料1回500円 →今回は見送り

コース②「港南台コース」平日週2回(火、木) 10~15分で4、5人を自宅まで迎えに行き、10時ころ出発し、

港南台3時間滞在で14時すぎに自宅着。65歳以上で自力で乗降車可能でホームページから予約できる方が対象。予約は町会HPの予約カレンダー(作成済み)、キャンセルはメールで。ニーズがあるかどうか、運転ボランティアは集まるのか。アンケートを実施。

1回800円、1年目は週2回、2年目は週3回で運用すると、運営費用は、1年目:406千円、2年目:351千円。毎月の20日までにボランティアが予約カレンダーに運転可能日を登録、25日から運行可能日を記した利用予約カレンダーで予約開始。

### <質疑応答>

(質問) 高齢化が一層進む5年後、運転ボランティアの参加が無くなったらどうするのか?

(回答) ボランティアがゼロというのは無いとは思いますが、仮にゼロだった場合、神奈川県最低時間給は900円弱であるので、そのレベルでパートのドライバーを雇えば、週2回、年間100回運行しても年間35万円程度。NPO法人を設立すれば対応可能。但し利用料の値上げ等が必要。

(質問) 食料品の買い出しが大変なら生協の宅配を利用すれば良いし、重い買い物袋を持って坂道を登るのが苦痛ならタクシーを利用すれば良い。

(回答) 生協の宅配は1週間前に頼む必要があるし、生鮮食料品は現物を見ながら買いたいという人が多い。タクシーは片道でも1600円くらい掛かる。買い物に出掛けずに現物を見ながら買い物するなら、全国的に展開している「とくし丸」という、大手スーパーの出張販売車がある。現在全国で500台以上稼働している。2年程前からマスコミにも度々登場している。蒔田の近くに拠点スーパーがあるので、庄戸地区も週3回巡回販売が可能。

(質問) 送迎カーの運行財源を町会費の繰越し金から出すと、送迎カーを利用しない人達から不公平感が出る。町会費が余っているなら、毎年の町会費を値下げしたり返金した方が良い。

(回答) ご指摘の「不公平感」は、私も計画作成時に1番気掛かりだったので、全世帯アンケートで確認する予定です。

(質問) 対象者の 65 歳以上というのは、まだ若い。

(回答) 世の中の「高齢者の定義が 65 歳以上」なので、65 歳以上にただけです。

(質問) 町会の中に「(分業)ボランティア会」を作り、町会活動を一部移譲する分業制にして行く検討を始めたという事だが、その前に「(分業)ボランティア会を作る必要が 有るのかどうか」を検討することから始めるべきである。

(回答) 4～5 年後には町会運営を輪番制役員で全て賄う事が難しくなるのではないかと思います、今から叩き台を出し 2～3 年かけて議論して準備していかないと間に合わないのではないかと考えています。これも全世帯アンケートで 賛否を問いたいと思います。

★運営委員会終了後、会長から「報告事項」を追加して欲しいとの申し出がありました。以下は会長作成の報告文です。

今回の運営委員会の議題にある「相談事項」について、会議の席上、私からの説明及び地区委員の方との質疑応答を行いました。その質疑応答の内容を会議終了後に再度熟慮した結果、以下の判断に至りましたことをご報告いたします。

(内容は、副会長 A、副会長 B の了解を頂いています)

- (1) 「買い物送迎カー」の相談に対して、運営費用の負担で「不公平感が出る」という指摘が出されました。私自身も一番気掛かりだったことですが、500 万円以上残っている町会費の繰越金の中から年間 40 万円程度を活用して、困っている人たちに応援したいと思い、今回皆さんに「相談」いたしました。  
席上ではこの懸念を「全世帯アンケート」で確認する予定と回答しましたが、再度考慮した結果、仮に「アンケート結果は賛成多数」になったとしても「現状では一部に不公平感が残る」のは避けられないと思います。そのため「買い物送迎カー」計画は「時期尚早」と判断し、この計画の相談自体を取り消します。
- (2) 「町会活動分業ボランティア会(仮称)」設立検討開始の「相談」に対して、「先ず(分業)ボランティア会を作る必要性があるのかどうかを検討することから始めるべき」との指摘が出されました。この指摘に対しても「全世帯アンケートで賛否を問いたい」と回答しましたが、再度考慮した結果、この問題は町会活動の現状認識や今後の見通し、輪番制役員制度による町会運営がこの先何年継続できるのか、継続が出来なくなっからの対応で間に合うのか、町会員全体に影響大であるため、アンケートで「検討を開始することの是非を問う」たあと、現在設置を検討している「超高齢化地域のこれからの町会活動を考える分科会」に「課題 D」として追加します。
- (3) 以上。2018 年 8 月 13 日、射場・記